

「A letter to ...」 — 新教材 Lesson 6 —

教科型単元

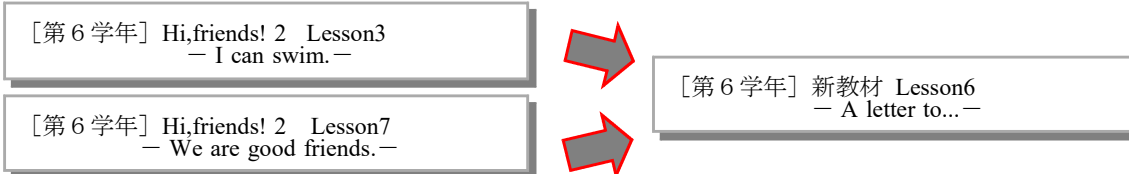
5・6年外国語科 2月 24Q〈8時間〉
附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘

1 本単元で目指す姿
相手の反応に対し、必要な情報や英語を考えながら、コミュニケーションを図る子ども
具体的には、中国の先生の反応に対し、伝えたい情報や考えと外国語とを関係付けるという「見方・考え方」を働かせ、基本的な英語表現〔can〕,〔is chasing〕を基に、自分の思いを伝えたり、中国の先生の思いを知ったりする姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
外国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の仕組み（語順）への気付き ○語彙・表現に関する知識 ○語彙・表現の使い方に関する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的等に応じて、語彙や定型表現を使い、互いの思いを伝え合う力 ○目的等に応じて、必要な情報や自分の考えと整理・再構築する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手やその背景にある文化を尊重しようとする態度 ○相手意識をもって、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度

3 関連する学習



4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
外国語科 （次）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 画像や動画から動物を推測し、〔～ is chasing ～〕を使って、文字と音を関係付けながら、どんな動物か考える。 ・猫がネズミを追いかけしているんだ。 ・The cat is chasing the mouse. ★外国語① 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 絵本教材を使って、動物当てクイズで動物にかかわる英語を文字と音の関係を意識させながら、〔～ is chasing ～〕に慣れ親しませる。 ※動物を推測できるクイズの提示をする。 	13 Q 4 時 間 15 分
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 画像や動画から動物を推測し、〔～ is chasing ～〕を使って、語順を手掛かりにどんな動物か考える。 ・おや？今度はネズミが猫を追いかけている。 ★外国語① 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 動物の種類や場面・状況を変えて、動物当てクイズをする。 ※マンネリ化をしないように、クイズ形式を工夫する。 ※モジュール学習：15分×2回 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本教材の内容を考える。 ・なんでタコがウサギを追いかけるの。 ・鬼ごっこなのに、なんで最後に「WORLD PEACE」？ ・通常ではありえない動物と一緒に遊んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 絵本教材の内容について考えさせる。 ※社会科・道徳・総合的な学習の時間などで、国際理解の学習を並行して行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〔～ is chasing ～〕〔can〕を組み合わせさせてやり取りをする。 ・The lion is chasing deer. ・The lion can't chase deer. 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 動物と〔～ is chasing ～〕〔can〕等を組み合わせながらコミュニケーションゲームをする。 ※なぞり書きができるワークシートを用意する。 ※モジュール学習 15分×2回 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本教材の意図を基に、World Peaceについて考える。 ・World Peace って始めは、戦争をしないや環境を守るだったけれど、そうするためには、もっと身近なことから変えていかないとダメかも。 ・そもそも人は、なんでそんなに自分勝手なんだろ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 絵本教材を基に、内容の意図について考えさせる。 	
	中国の先生にみなさんが考える World Peace を伝えよう！		

- 自分たちの考える World Peace を想像する。
 - ・でも、どんなことを伝えたらいいかな。
 - ・そんなすごいことでなくていいと思う。
 - ・普段の私たちのことが伝われば、お互いに通じ合える気がする。
 - ・じゃあ、絵本の鬼ごっこを使って、伝えらえたら面白いかも。
- 伝えたいことを考え、情報と英語を集める。
 - ・仲良しを伝える。
 - ・自分の好きなことや特技を伝える。
 - ・ならば、[can]使えばいい。

- ◆ 交流先の中国の先生から「みなさんの考える World Peace を教えてほしい」という依頼を受ける。
- ◆ 自分の思いを伝えるために、何が必要かを問う。

A:Let's play tag!
B:Who are it ?
C:I'm chasing D.
D:Wow, You can run fast.
D:No, I don't. But, I can play the piano.
C:You can play the piano.
D:I'm chasing A. (追いかける) …
※4人組でお互いに追いかっこをして、捕まえたらお互いのよさについて伝え合う。
All:We can do different things. But, we are good friends!
B:Show me the piano,please.
All:Yes, let's.
C:I'm it.
(追いかける)
C:Of course. I like sports. Do you like sports?
C:Really? I can't play the piano.
D:You can play sports.
D:Sure!

★外国語科①

- 考えた英語を実際に使う。
 - ・う～ん。だいたいいいかな。
 - ・後は、伝えてみてどうかだね。
- ALTと試しのコミュニケーションを図る。
 - ・話している時、質問されて答えられなかった。
 - ・相手の言っていることが分からなかった。
 - ・上手く伝えつもりだったけど首を傾げられた。
 - ・ジョン先生が分からないというリアクションをしたところを見付けなければいいんだよ。
- 上手くやり取りができなかった原因を考え、会話を修正・追加する。

- ◆ 考えたやり取りを友達と練習させる。
※モジュール学習 15分×1回
- ◆ ALTと試す場を設定し、感想を問う。
【働き掛け1】
※ALTには、あらかじめ中国の先生を想定してリアクションしてもらうことを伝える。
- ◆ 課題に立ち返らせ、どうしたらよいか問う。
【働き掛け2】

World Peace を伝えるために、この発表を考えたんだ。だったら、お互いに来ることを発表するだけじゃダメだよ。きちんと相手に伝えることが大切なんだ。だったら…。

- 修正した会話文でやり取りをする。

- ◆ 追加・修正した会話文で中国の子どもとやり取りする場面を設定し、その結果を問う。【働き掛け3】

Mary=Chinaese teacher
All: Hello! We are friends. Friends are very important. Please, show us. A:Let's play tag! All:Yes, let's.
B:Who are it ? C:I'm it. C:I'm chasing D. (追いかける)
D:Wow, You can run fast. C:Of course. I like sports. D: You like sports.
C:Do you like sports? D:No, I don't. But, I can play the piano.
C:Really? It's great! I can't play the piano. You can play the piano.
D:You can play sports. D:I'm chasing A. (追いかける) …
※4人組でお互いに追いかっこをして、捕まえたらお互いのよさについて認め合う。
All:We can do different things. But, we are good friends! It's important!
A:What sport can you play? Mary:I can swim. C:It's good. I can swim, too. B:Show me the piano,please.
D:Sure! Mary:Very good! It's important for us to know each othaer. And, You are good friends. Could I be friends?
B:Yes. Sure. Mary: Could my students be your friends? C:Of course.

★協働性 ☆ツール活用能力 ☆外国語科①②③

- ・伝わった。中国の先生も同じことを伝えたいと言った。
- ワークシートやタブレット端末を基に、活動を振り返る。

- ◆ ワークシートやタブレット端末の記録や動画をもとに、授業で得たものを問う。
【働き掛け4】

『分かったこと』
・私たちは、World Peace として、身近な友達の違いを認め合って、仲良くすることを伝えたら、Mary 先生もそれがすごく大切と言ってくれた。
『できたこと』
・[can] を使って、お互いの出来ることについて話げできた。[is chasing] は、友達を繋ぐときに使えた。
・Really?や How about you?等は、会話をする時に使えることが分かった。